

ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
スポレク	2
防災訓練	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
ハビリテーション	4
ボランティア講座	4
木の宮日記	5
サポート(ボランティア紹介)	6
アプローチ	
地域療育等支援事業(その1)	7
情報フラッシュ	8

さくら千手園 佐倉市青宮1019 043-462-2008

木の宮学園 佐倉市青宮1051 043-463-1008
レインボー 佐倉市青宮1051 043-463-1128



地域生活支援センター「レインボー」

散歩道

10月1日、本法人に障害児・者地域療育等支援事業を行う「レインボー」がオープンしました。

これにより地域で暮らす在宅障害児・者一人一人が福祉サービスを有効にコーディネートすることができ、充実したライフステージを過ごせるようになります。また、ボランティア・ホームヘルパー・NPOなどの育成と生活支援システムネットワークづくりに大いに役立つものと確信しています。

事務所は、さくら千手園と木の宮学園の間にある多目的ホールの一部を増改築し、機能回復訓練や地域交流スペースと併せて利用できる場所に設置しました。

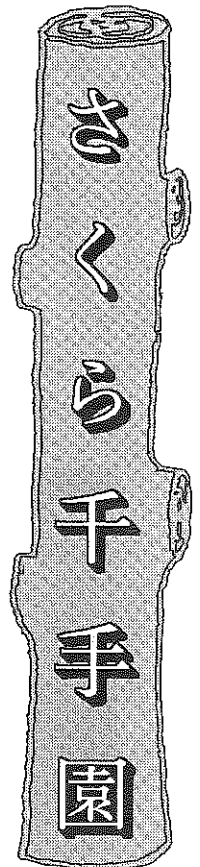
名称の「レインボー」は、利用者独自の色が出せる福祉サービスを提供できるようにと皆で考えました。

これからも地域のニーズを敏感に受け止め、スピーディに行動できよう努めてまいりますので、ご支援下さいますようお願いいたします。

(詳細は7ページを

ご覧下さい。)



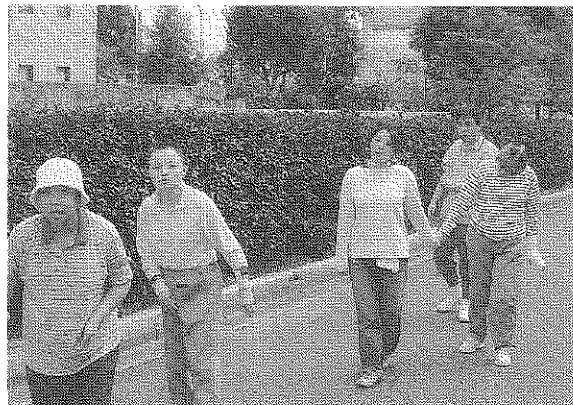


ス ポ レ ク

平成13年度より新しい個別プログラムとして「スポーツレクリエーションサークル」(スポレク)を始めましたので紹介します。

まず目的ですが利用者の方々の健康維持と余暇の充実をはかるために「楽しみながら体を動かそう」ということを目指し取り組んでいます。活動の内容は、園の近隣を散歩したり公園で思い思いに遊んだりしています。時間は週2回の火・木曜日の13時20分～15時までとし利用者5・6名と職員2名で実施しています。

まだできたばかりのサークルのため今の所は散歩を中心に行っていますが、参加している大半の利用者は楽しみながら笑顔で過ごしています。今後は、もっと個々に合ったプログラムを考え、皆が「スポレクサークルに参加したいなあ」と思えるような活動にしていきたいと思えます。



さてこのようなサークルですが1人の利用者の参加は月2・3回程度です。そこでお手伝いをしてくれる方がいれば月4・5回の参加ができると考えています。もし興味を持ってお手伝いして下さい方がいましたらご一報ください。お願いします。
(蜂谷)

総合防災訓練

前日から生憎の秋雨前線の影響で夜間の総合防災「消防署等と共に訓練」は、利用者の健康管理を考慮し止むなく中止になりましたが、日中の訓練では開園以来、初めての地震体験車による阪神淡路の直下型地震の揺れを受講者・近隣の保護者及び一部の利用者が震度7の激震を体験しました。職員も多くは、万一この地域に震度6とか7が発生したらと心配したり、利用者の母親は驚きで蒼白になっていた方も居り、地震の恐ろしさを共に痛感しました。又利用者の多くは「楽しかった」と答えていました。この平和な答えは「利用者」と職員等の意識の違いがはっきりしていました。防災の日行事の一日の訓練内容は、地震体験車の体験・消防署から講師を招いての救命講習・防災講話・消火器の取り扱いと消火訓練・補助散水栓の放水訓練・スプリンクラーの散水端末テスト・避難器具の取り扱いと体験応急救護の要領等、更には夕食前の混雑した時間帯に夜間を想定した避難訓練を実施しまし



地震体験車にて

た。参加した全職員は終始熱心に受講し防火・災害の意識を高揚する事ができました。中でも防災講話では「忘れた頃にやってくる日の為に」と題して佐倉防災KKの秋山社長に講演して頂き、受講者一同に日頃から身の回りの点検整備を続けて「利用者」の盾になって欲しいと力説されました。特に9月1日の未明に発生した「新宿ビル火災」で貴い44名の命を奪われた大きな火災の話を実況に拝聴していました。防災訓練の最後に当日の夕食は佐倉市の交通防災課から非常食を頂き試食しました。有意義な訓練の一日でした。(沼倉)

千手園日記

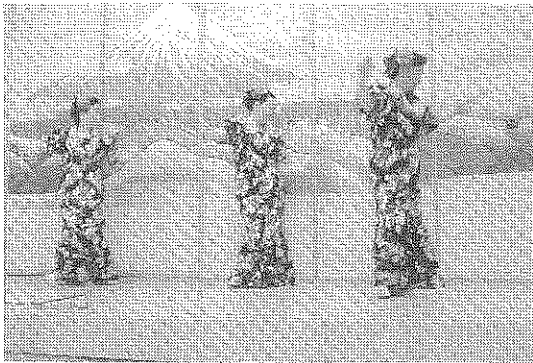
親子宿泊旅行

9月7日、天気は曇：朝早くから大型バス3台で、伊豆稲取方面に向けて出発しました。保護者の方と一緒に旅行とあつてか、皆の目はキラキラと輝き足取りもとても軽く見えました。

まずはじめに向かった場所は、「伊豆バイオパーク」サファリアバスに乗り、動物を間近に見ることができ「大きいねー」「キリンだーすごい」との声がちらほらと聞こえてきました。終点に着くと近くにはゴーカートや観覧車などの乗り物があり、時間いっぱいまで思う存分楽しんでいた方もいました。その後は宿に戻り大宴会：ごちそうに負けないくらいのお出し物がいっぱいありました。それは保護者の方々によるフラダンス：サブちゃんこと北島三郎の曲に合わせての踊り：そしてカラオケ

大会：と多くの人が舞台に出てはマイクを離さない、踊りだしたら止まらないといった大盛況の時を過ごしました。

興奮冷めやらぬまま2日目の朝を迎えました。まずは「いのしし村」へ：「いのししのレース」には、職員の方が真剣に見入ってしまふ場面もありました。そして「洋らんパーク」温室内に作られたスタンプラリーに釘づけになっていました。でも一番満足してもらえたのはごちそうかな：お風呂かな：いつも以上に皆の笑顔が多く見られた2日間でした。(伊東)



保護者によるフラダンス

行ってきました、房総の旅。2泊3日のどたばた珍道中のはじまりはじまり。勝浦のホテル三日月の温泉ドームアクアパレスでは、コーヒー好きなSさんはコーヒー風呂につかり、その他ワイン酒風呂、サウナなどお風呂三昧でした。その日の夕食は、コテージバーベキュー海の幸アワビなど。新鮮な材料で特に牛タンは絶品で舌もとろける様なおいしさでした。利用者の皆さんも、鉄板にのっている食べ物を箸で一生懸命取り、口に運んでいました。行川アイランド

6月6日。あいにくの雨の中、私達は富士五湖方面へ出発しました。初日は、ドライブがてらに河口湖以外の4湖を制覇。2日目は風穴、遊覧船、温泉と盛り沢山。ほうとうも最高でした。いよいよ3日目は待ちに待った富士サファリーパークです。ライオンや熊は公用車に手をかけて来て、皆さん背筋の氷る思いをしました。ライオンの子供やオウムは触る事ができ「犬みたい、派手な鳥だね。」と普段見られない動物に感動していました。中には、冷汗をかいていたり、眉をしかめている人もい

「どたばた珍道中」

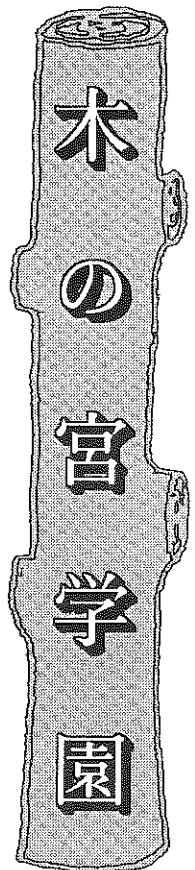


では、フラミンゴのショーが見事でした。で鳥たちに見とれていました。(松沢)

「近すぎちゃって……」



ましたが、良い経験になった様でした。(相沢)

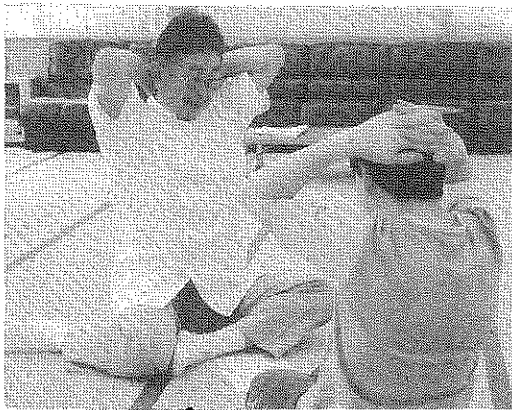


ハビリテーション

木の宮では、現在6名の方を対象にハビリテーションを実施しています。

ハビリテーションとは、身体機能の維持を目的としたものです。誰しも年齢が進むにつれて、多かれ少なかれ身体的な機能は低下していきます。そのため歩くことが困難になったり、寝たきりになってしまったりということも考えられます。そうした状況を防ぎ、なるべく現在の状態を維持・改善できるように、PT（理学療法士）の小川さんに診断してもらい、個別にプログラムを組んで行っています。しかし、身体的な動作なので、苦痛を感じることもあり、嫌がる方もいます。そのため、プログラムで必要な動作を日常生活の中で行うことができるよう工夫したり、音楽をかけたリ楽器を使うなどして楽しい雰囲気を作ったりしながら

ら行っています。また、通所施設ということで家庭での協力も欠かせません。PTの診断時に保護者の方にも来園していただき共に試行錯誤しています。ハビリテーションをはじめて3年目。成果が出るのはまだまだ先のこと。これからも利用者の方々、保護者の方々、小川PTと共に、楽しく頑張っていきたいと思えます。（新井）



ボランティア講座



8月の恒例行事となりましたボランティア講座を8月23、24日に開催しました。ボランティアの方が来るのを楽しみにしている利用者も多く「今年は何人来るの」「一緒に遊んでくれるかな」などが聞かれました。



当日の朝は玄関で「おはよう」と言ってお出迎える人までいる歓迎ぶりです。4名全員が集まり講座の始まりです。施設の概要やサポートガイドブックを配布してボランティアを行うにあたっての講義を行いました。ボランティアは初めてという方も講義を受けることにより「緊張せずに利用者と接することが出来た」などの意見が出ました。

午後にはフリータイム。ボランティアの方の希望を聞き、ボウリング・カラオケ・なし狩り他に分かれての活動です。利用者の方も自分の好きなグループに分かれての活動で笑顔も多く、ボランティアの方も園内とは違う一面が見られとても楽しめたようでした。アンケートには「利用者と多く話す機会がありとても有意義に過ごせた」「利用者だけでなく私自身も楽しむことが出来た」などの意見がありました。

二日目は一日作業で2つの作業班を体験してもらいました。人数が少なかったけれど、自分の考えをしっかり持った方々で例年になく充実した講座になったのではないかと職員一同感じました。この講座をきっかけにボランティアや知的障害者に対する理解が深まれば幸いです。次回は三月に予定していますので多数の参加をお待ちしています。（森）



木の宮日記



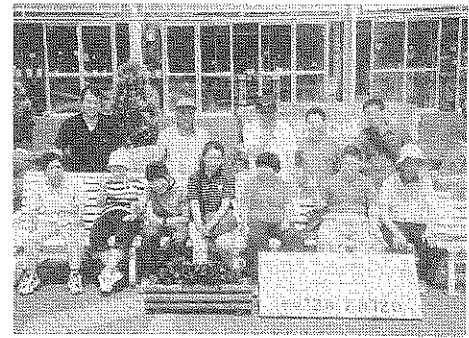
癒しフェア

6月7・8日と福島県にある、スパリゾート・ハワイアンズへ行って来ました。ホテルに着くと早速、水着に着がえプールへと繰り出しました。まずは、熱帯魚が見られるプールに入るなり皆一同、水槽に張り付き「きれいだね」の一言。見ている間に、次々と流れるプールへ。みんな思い思いにプールを満喫し、疲れた体を癒す為にお風呂へ。お腹がすいて来た頃に夕食はバイキング。ちょうど、北海道フェアをしていたので「カニ・ヒレステーキ」の食べ放題。それぞれが舌鼓を打ち満腹の顔でした。そしてハワイアンダンスやファイヤージョーを見

るなり大興奮!! 最後には、ステージに上がり一緒にダンスをしている人もいます。二日目は、のんびりとお買物タイム。家を買って帰る人、作業班に買って帰る人と、様々でしたが、どの利用者も満面な笑み。「楽しかったね」の声に、一同うなずくばかりでした。

(河野)

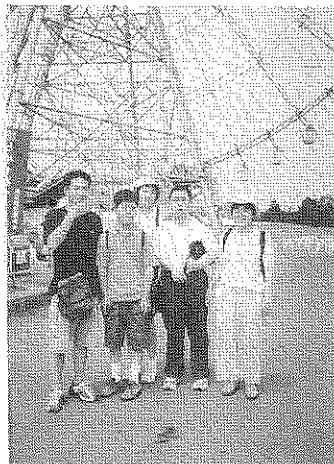
那須で須!



7月12・13日と那須方面に旅行へ行ってきました。とにかく暑い2日間でしたが皆元気に楽しんできました。昔に

新名所

暑さジリジリ、せみミンミンの7月に出掛けたニード別外出は、葛西臨海公園に新しくできた大観覧車に乗りに行こうという目的で出掛けました。現地に到着すると皆から「観覧車に乗りたい」と言う声と共に走って行きました。いざ観覧車へ…どンドン上の方へ上がっていくと視界一面に広がる景色を見て「あーディズニーランド」などなど言って大興奮。皆が楽しんでいる中、約17分



の観覧車は終わりました。次に出向いた所は水族館です。大きい魚・小さい魚を見て「かわいいネ」「キレイだネ」と言っていたり、めずらしい魚を見てビックリしていたり、それぞれを楽しんでいました。そうこうしているうちに楽しい一日一日もあっという間に終わり、皆からは「楽しかった」「また来たい」という声が聞けました。(吉村)

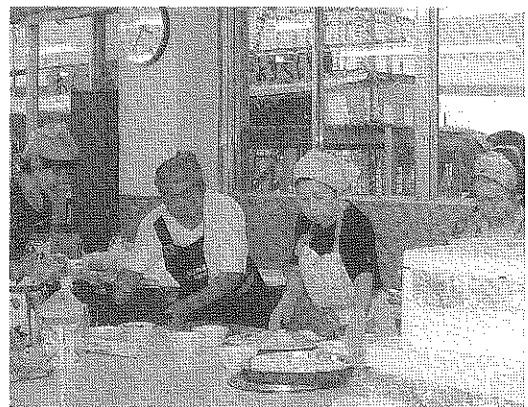
比べずいぶんにぎやかになっているのには驚きました。宿泊はサンバレー那須で、お風呂や温水プールを楽しみ、夕食は盛りだくさんのバイキングをあれこれ食べて大満足。翌日はサファリパークへ行き、猛獣に会うことを期待したのですが、ライオンがのんびりとお迎え。他は可愛い動物ばかりがエサをもらえるかと、ワゴンに近づいてくるだけで少々がっかりでした。次は南が丘牧場へ行って広い牧場内をゆっくりと散歩。旅の終わりはお待ちかねのお菓子の城でおみやげ探し。さすがに「お城」だけのことはあります。お菓子があり過ぎて迷うことしばし。結局自分が食べたいなーと思う物を買ってまたまた大満足。折り悪しく夕立になりました。空が真っ暗になる程大雨になった山の天気を送られて、また来たいねと言いながら帰って来ました。(百瀬)

サポート

ボランティア紹介（夏まつり編）

千手会夏祭り、それはボランティア募集から始まると言っても過言ではありません。夏まだ遠い6月、各広報誌や地域のボランティア団体、学生へ千手会からのお呼びがかかりました。早速連絡を頂きあれよあれよと総勢百名余りの方々が集まって下さいました。準備段階ではポスター貼りや会場設営。当日は模擬店手伝い、駐車場誘導等様々な内容に携わって頂き、改めてボランティアなくしては夏祭りが成り立たない事を痛感しました。当日は残念ながら雨天中止。不手際な点も多かったと思いますがこれに懲りず来年も是非御協力頂きたく利用者、職員一同願っております。ありがとうございました。（高橋洋子）

ユリカリ和の会
 稲澤 法子
 待ちに待った夏祭りが雨に見舞われ、園の方は勿論、私達も残念でなりません。先に始まったパザールの方は心配した雨もなく、お買い物のお客様も見え賑わいました。皆さんお目当ての品がお買い得かどうか一生懸命でした。お祭りが始まって直ぐに大粒の雨が降ってきました。止みそうになく、空を見上げる人の祭り半天も心なしか寂しげに見えました。お祭りのお手伝いはまだ3回目ですが、皆さんは何時もの時と違い、僕達私達のお祭りなんだという心意気が見



えました。今夏休みの宿題の作文を書いている気分です。ありがとうございました。

わかぐさ会

小出 洋子

待ってた夏まつり。格好よくきめた祭半天にウチワ、曲に合わせて大きな輪になって踊ったり、模擬店でいっぱい食べて、ゲームで遊んだり。そして私達ボランティアも皆とお話ができることを楽しみにしていたのに……。

雨が降って中止。残念です。

一緒に遊べなかったけれど赤や青の祭半天、とっても似合っていました。関係者の皆様お疲れ様でした。

おやじの食事学同好会

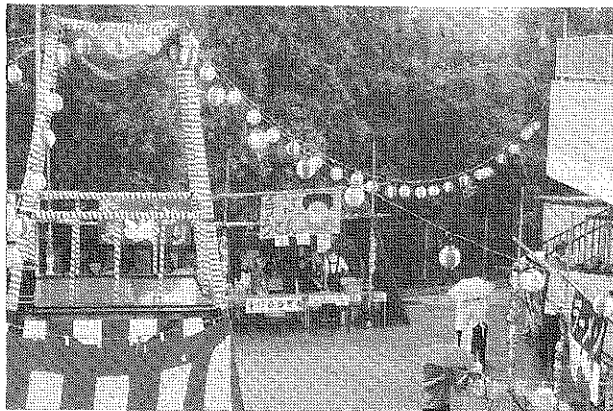
奥平 英明

今回初参加で楽しみにしていたのに、大雨に見舞われ残念でした。同好会の手打ちうどんをみんなに食べてもらえたらなーと思い残念。今回は中途半端でしたが、次回もし参加させてもらえるなら今回を参考にし、皆様に味わってもらえるよう頑張ります。

個人ボランティア

廣田 昌子

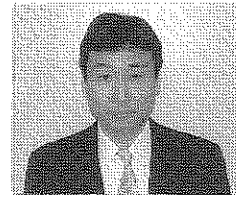
初めまして、ボランティアで綿あめ屋をしている廣田です。あいにくの雨でしたが、綿あめ屋はお客様が途切れることなく大忙しでした。湿度が高く、綿あめが溶けてしまい、思うように大きく作れなかったのが申し訳なかったです。もっと修業を積んでおきますので、次回ぜひ呼んで下さい。今度は、利用者の皆さんに手渡したいと思っています。



Approach

アプローチ=接近する・研究方法

文庫センターオープン 地域療育等支援事業(その二)

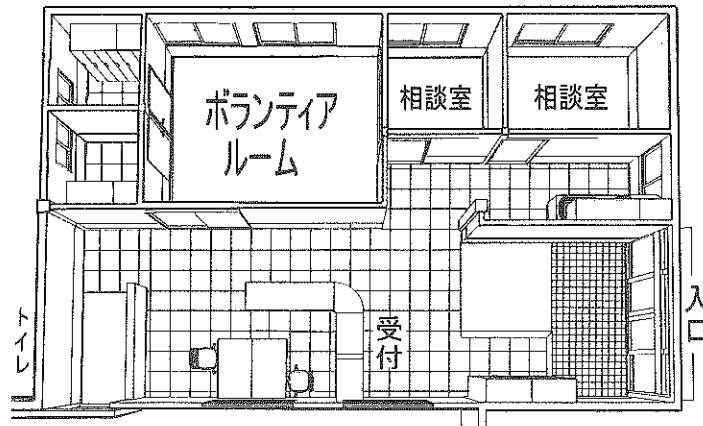


コーディネーター
小宮 新

平成13年10月1日より、在宅の障害児(者)の方を対象に「レインボー」という地域生活支援センターを開設しました。これは、障害児(者)地域療育等支援事業という社会福祉法人に委託される事業です。専任のコーディネーターが常勤し、地域の方々の相談をはじめ、福祉制度の説明、情報の提供、ボランティアの育成等を行います。利用は在宅の障害児(者)ですが、地域の保育園や幼稚園、養護学校に通う障害児の方から作業所や通所施設を利用している方も含まれます。具体的には来園や訪問により登録をしていただき相談

に応じます。ハンディキャップを持つ方そして家族の暮らしやすさのために様々な情報の提供や地域で暮していくための助言をしています。これは国の事業ですから、登録や相談に費用はかかりません。医療や療育、教育や就労と専門的な分野においては、その機関との連携も行います。また福祉事務所や児童相談所・学校・病院・保健所・作業所など諸機関とも密に連絡をとりながら、より新しい情報の提供をし、地域での生活に貢献します。気軽にご相談ください。では相談の他にどんなサービスを受けることができるのでしょうか。当法人では、ショートステイや日帰りショートを行っている。養護学校の長期休暇中に利用したい、家庭に急用ができた、宿泊体験をしたい、日中活動に参加したい等利用の理由は様々ですが、コーディネーターが日程の調整を致します。また毎月一回イベントも開催します。法人のスタッフや地域のボランティアの方々に協力を得

て、地域の社会資源を有効に活用し、余暇活動支援として楽しい企画を考えています。それから外来や地域の訪問による、園の看護師や栄養士の相談もあります。法人スタッフ以外では、理学療法



士・臨床心理士を嘱託として協力をお願いし、専門的な実践や助言を得ることが出来ます。他にも一般指導事業として、保育園や幼稚園あるいは作業所等を訪問し、障害児(者)に対する療育的助言

レインボー見取図

等も行います。この事業は、複数の市町村で構成されている障害保健福祉圏域を対象にして実施されるものです。レインボーは、佐倉・四街道・八街の3市を中心に活動を展開して参ります。平成15年には、措置から利用制度へと変わります。今後は利用者主体の選べる時代になりつつありますが、利用できる支援体制が整っていない地域もあります。地域で暮らす本人や家族の生活をしっかりと支えて行くには、多くの問題が残されています。そのため佐倉市において、『システム研究会』を発足し、佐倉市を含む3市・地域の育成会や様々な関係機関との連携をとりながら進めて参ります。今何に困っているのか：これからどんな暮らしが必要なのか：本人や家族と一緒に考えて、地域での生活を支えて行くための力になりたいと思います。まずは電話をして下さい。お待ちしております。

Tel 043-463-1128



ご寄付に感謝いたします

千手会夏まつりにご支援・ご参加
いただきました皆様へ

密(宗)真言宗豊山派宗務所様
密(株)ダイケン様 密 W A の会様

保護者会バザーのお礼

今年は関係各位の御好意で六月
十五日・八月一日の「広報さくら」
に、地域新聞は七月十五日に「バ
ザー用品御寄付のお願い」を掲載
して頂き、佐倉市は元より千葉市、
鎌ヶ谷市の方々にも御協力を得ま
した。世の中デフレ傾向や、百円
ショップでバザーも難しくなって

来ましたが今回大変嬉しかった事
は、昨年にも増して若いボランティア
ア、和の会、保護者会の方々の御
協力でした。そのお陰で昨年と同
じ位の収益をあげる事が出来まし
た。地域の皆様様方の暖かい御気
持ちと御協力で保護者一同心底よ
り感謝して、加齢対策基金に積み
立てさせて頂きます。

(さくら千手園保護者会)

新任職員紹介

さくら千手園介助員 辻村枝美子

六月より、さくら千手園で働か
せて頂いています。初めは緊張し、
職員や利用者の皆さんにご迷惑を

10月	
3~5日	ニード別旅行(横浜) ⊕ ⊕
11~12日	グループ旅行④ ⊕ ⊕
13日	印旛地区スポーツ大会 ⊕ ⊕
18日	フライングディスク大会 ⊕ ⊕
27日	木の宮フェスティバル ⊕
11月	
9日	手をつなぐスポーツのつどい ⊕ ⊕
14~16日	ニード別旅行(長野) ⊕ ⊕
15~16日	グループ旅行⑤ ⊕ ⊕
12月	
5~7日	ニード別旅行(大阪) ⊕ ⊕
27日	千手会年忘れ会 ⊕ ⊕
1月	
12日	餅つき会・成人を祝う会 ⊕ ⊕
15日	餅つき会 ⊕ ⊕
27日	ゆうあいピック駅伝大会 ⊕ ⊕
⊕; 千手園 ⊕; 木の宮学園	



おかけしてき
ました。三
ヶ月が経ち、
皆さんに支え
られながら、

これからも一生懸命仕事に取り組
んでいきたいと思っています。よ
ろしくお願い致します。

さくら千手園介助員 須田 木美



まま三ヶ月が
過ぎましたが、
職員方のご指
導もあり、な
んとかこれま

した。これからも皆様の足を引っ
張らないよう、がんばって勤めた
いと思えます。よろしくお願ひ申
上げます。

木の宮学園介助員 岡本 謙二
自然がいっぱいの木の宮学園。



グループ活動、
外注班の作業、
どれを取って
も新鮮で驚き
の日々。時に

は、戸惑いながらも充実した楽し
い雰囲気になれてきたところ

です。これからも少しでもお役に
立てるよう真面目に取り組んでい
きたいと思えます。

おめでとーございませう

★還 暦

本島 昭さん(さくら千手園)

★ご結婚 7月7日

太田光徳さん(さくら千手園)

8月8日

蜂谷眞司さん(さくら千手園)

お世話になりました

宮崎 雅子さん(千手園介助員)
望月寿美子さん(千手園指導員)



夏の暑さもやわらぎ、気持ちの
よい季節となりました。秋と言え
ば、スポーツの秋、食欲の秋、読
書の秋等々浮かんできます。

私にとって秋と言えば、やはり
食欲の秋。スーパーに買い物に行
くと、おいしそうな物が沢山なら
んでいます。一番私の目を引いた
のは、大好きな栗。ゆでてよし、
栗御飯にしてもよし。今年も栗を
買いこみ、栗三昧の日々を送りた
いと思えます。
(網本)